

# 第Ⅲ章 活動のヒント

## 1 推進員活動のすすめ — 地域住民への働き掛け方はいろいろ

推進員として町内会などの地域で活動する際に、どのような活動から始めたらよいかわからない、悩んでいる方に向けて、地域活動の支援を行っている遠藤智栄先生より活動のコツを伺いました。悩んでいる方はぜひ、活動の参考にしてください。

### 「推進員」を地域の方々に認知してもらおう

皆さんは、推進員の委嘱を受けてこれから活動していくことになるわけですが、地域での活動は、地域の方々から「認知」されるとやりやすくなります。では、推進員について知ってもらうためには、地域の方々にどのように説明したらいいのでしょうか？

「クリーン仙台推進員・クリーンメイト 活動の手引き」（本誌）に目的や位置付けが書いてありますが、そのままの言葉ではなかなか伝わりにくいときは、言い換えて伝えてみてはいかがでしょうか。



＜遠藤智栄氏 プロフィール＞

まちづくりアドバイザー。人材育成、まちづくり、政策への市民参画協働の分野で活動。市民の個性や想いを大切にしたいソーシャルデザインを応援している。地域社会デザイン・ラボ代表。

### ＜推進員の役割＞

- ①ごみの減量などを通じた環境まちづくり活動、問題解決行動を応援する役割
- ②環境まちづくり活動を進める上で、市民と行政の連携を図るコーディネーター・リーダー

そして、法律に基づいて仙台市が設置した制度であること、さらに、推進員であるあなたの「ごみ減量やまち美化などへの思い」も合わせてお伝えすれば、地域の方々の理解はさらに進むでしょう。

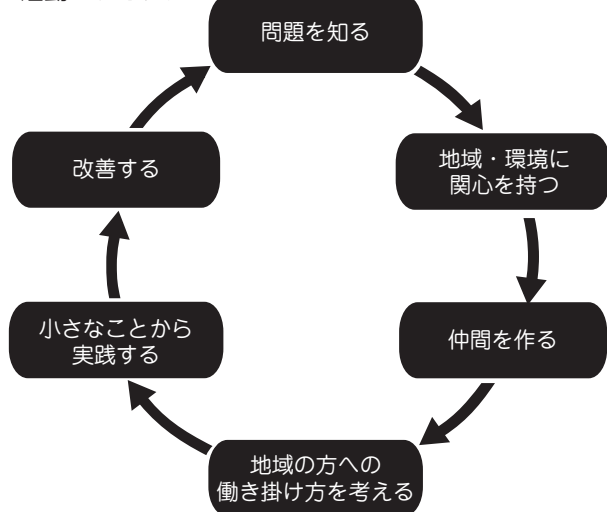
お互いの顔と個性が分かり、気持ち良く話し合える関係、人と人との絆ができれば、これを土台にして、地域でのごみ減量・まち美化、さらには防災・防犯などの活動に、地域の方々と力を合わせて取り組むことができると思います。

### 推進員活動の始め方

「推進員になったけど、何をすればいいかわからない」といった声をよく聞きます。そんなときは、ぜひ、仙台市が実施する「研修会」に参加してみましょう。

研修会では、推進員同士の交流・情報交換を通じて、他の皆さんがどんな取り組みをしているか知り、参考にすることができます。そこから、「問題を知る」「地域・環境に関心を持つ」「仲間を作る」「地域の方への働き掛け方を考える」「小さなことから実践する」「改善する」の活動のサイクルを作り、自分なりの活動に発展させていきましょう。

### ＜活動のサイクル＞



では、推進員の活動には具体的にどんなものがあるでしょうか。

これまで実践されてきた活動を分類すると、以下のようにさまざまなものがあります。地域で問題になっていることや自分の関心、経験などと照らし合わせてみてください。何か気になるテーマはありませんか。

### <推進員の活動例>

- |                    |                          |             |
|--------------------|--------------------------|-------------|
| ●カラス、犬、猫などの対策      | ●缶・びん・ペットボトルの出し方ルール周知と点検 |             |
| ●ごみの分別周知           | ●集積所の改修                  | ●ポイ捨て対策     |
| ●紙類の出し方ルール周知と点検    | ●回覧物・掲示物の作成              | ●集積所の美化     |
| ●単身・学生アパート住人への働き掛け | ●外国人住民への働き掛け             | ●子どもへの環境教育  |
| ●事業（営業）ごみ対策        | ●不法投棄対策                  | ●ごみ減量への取り組み |
| ●勉強会・見学会の企画・開催     | ●町内の清掃                   |             |

### 推進員活動の5つのポイント

活動を実践していく時に、押さえておきたいポイントが5つあります。

#### <5つの活動ポイント>

- ①推進員活動は「地域住民による問題解決行動・まちづくり」であり、住民自治活動の一環です。
- ②「自分ができる」から「みんなができるための援助をする」のが推進員の活動です。
- ③「一人」でやっていたことから、『グループ・チーム』での活動へ、発展させていきましょう。同じ関心を持つ人が2人、3人集まれば、それはもうグループです。町内会の中でグループ化してもいいですし、他の地域の推進員とテーマごとにグループやチームを作って、勉強会を実施するのもお勧めです。
- ④住民同士がつながり、「気付き」を共有する運動にしましょう。人は、自分自身で気付けば行動します。
- ⑤住民と行政との「協働」の視点を持ち、お互いに知恵や意見を出し合って活動を進めましょう。

### 地域活動の発展段階

さて、皆さんがまちづくりや問題解決に向けて地域で活動していく中で覚えておいていただきたいのが、活動には発展段階があるということです。

第1段階は「住民同士の思いや情報を共有する」段階です。「うちの地域ではこれができていないよね」「もうちょっとここがきれいになればね」。こんな話が互いにできる関係づくりが大切です。

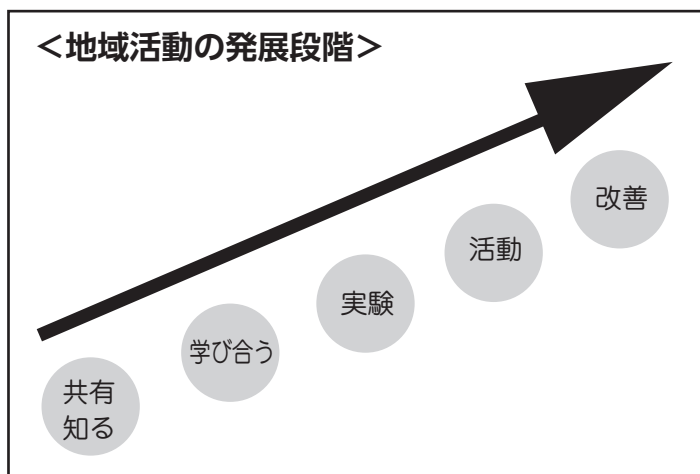
第2段階は「共に学び合う」段階です。その問題を解決するにはどういう方法があるのかについて、推進員同士、住民同士で勉強します。

ある程度勉強したら、第3段階、「実験してみる」段階です。「お試してチラシを書いてみる」「お試して掲示板に貼ってみる」など、お試して少しずつやってみるのです。

そして、第4段階が「活動する」段階。実験結果を踏まえて、実際に活動します。

最後に、第5段階、「改善・成長する」段階。活動も一回やったらそのままではなく、毎回、振り返り見直して改善を図り、より成果が上がる活動に進化させましょう。

#### <地域活動の発展段階>



## 「観察」から「話し合い」、「問題解決」へ。「話し合いの文化」を根付かせよう！

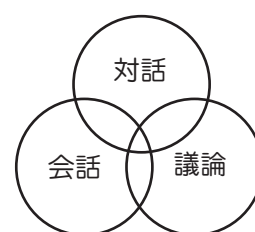
推進員活動を実施する際に、まず重要になるのが「観察」です。推進員の皆さんが、どんな援助を行い、どんな言葉を掛けるかは、観察で何に気付くかで変わってくるからです。

例えば、地域の方々のごみ出しの状況や行動のクセ、カラスの特性などを観察します。そして、観察で気付いたことを推進員同士・住民同士で話し合い、共有し、いろんな取り組みやアイデアを出してみるのです。そうすれば、「3人寄れば文殊の知恵」ということわざにもあるように、活動アイデアや援助の工夫が出てくることでしょう。

あなたの住む地域に「話し合いの文化」を根付かせてください。「会話」「対話」「議論」がある地域は、問題解決力も高い地域といえます。何か問題が生じた場合は、住民が集って、みんなで語り合い、アイデアを出し合い、多様な視点で物事を考えることで、見えにくいものが見えてきます。

### <話し合いの文化を育てよう>

- 会話＝筋道よりも自由さ。思いつくまま話す
- 対話＝自分を主語にして話す。判断を保留し、異なる意見を受け止め、背景を探る
- 議論＝意見を交わし、より良い答えを見つける。事実や論理を大切にする



### ◆アイデアを多く出してほしい場合のルール例

- ①批判禁止
- ②たくさん出そう
- ③とっぴな案も歓迎
- ④連結・応用もOK

そして話し合いの際には、ぜひ、「問題解決のプロセスで話をする」ことに挑戦してみてください。このプロセスを推進員をはじめ地域の方々と実践していければ、課題解決はどんどん進むはずですよ。

### <問題解決のプロセス>

- ①問題を発見し、みんなで共有する。
- ②問題の根本的な原因を探り当てる。
- ③問題の解決策を複数考え、適切なものを選ぶ。
- ④行動計画を作り、行動する。

## 住民を援助するコツ

ルールを守らない人は、実はごみ出しルールや分別の方法が分からなくて「困っている人」なのかもしれません。その困っている人を助けるのが「援助」です。援助する際には、次の点を心掛けましょう。

### ①責めない

ごみの出し方を間違えた人を責めれば責めるほど、かたくなになって反発される場合があります。「北風と太陽」の物語のように、暖かい太陽方式で、言葉や接し方を工夫して、良い関係づくりを心掛けましょう。

### ②世間の目を活用する

人は「世間の目」を気にしています。ごみを出す時間に集積所であいさつをしたり、近隣で花を植栽したりすることで、この地域ではいろいろな方が地域に関心を持ち、世話をし、手を掛けていることが伝わります。こうした地域では、ルール違反をしにくくなるものです。

### ③「指導する」から「相談に乗る」へ

推進員の皆さんが学んで身に付けたノウハウや工夫、情報を、地域の方々に伝えるのも大切な活動です。その際は、「指導する」よりも「相談に乗る」という接し方が効果的です。「○○○しなさい」よりも、「お困りですか。相談に乗りましょうか」「分からないことがあったら声を掛けてね」という言葉です。相手の個性に合わせて接し方を工夫しましょう。

### ④100%を目指さない。一人の100%より全員の80%

100%を目指すすと、つい間違えた人やできない人を責めてしまいがちです。誰でも間違いはあるもの。完璧な方が1人いるよりも、80%できる方を地域にたくさん増やしていきましょう。

### ⑤ほがらかに

堅い表情では声を掛けにくく、監視されているようで、ごみを出すのもおっくうになってしまいます。お顔はほがらかに、互いに気持ち良く言葉を交わしましょう。

### ⑥伝える内容と方法を工夫しよう

地域の方々に働き掛けるときには、「伝える内容・言葉」と「伝える方法」に知恵を絞りましょう。伝える内容や方法は、以下のようにさまざまあります。マンネリ化しないよう、内容と方法をいろいろ組み合わせて、目先に変化をつけてみましょう。

#### <伝える内容>

ごみの出し方ルール、困った例・良い例、住民の声、相談、写真、イラスト、テーマ別の情報提供・・・

#### <伝える方法>

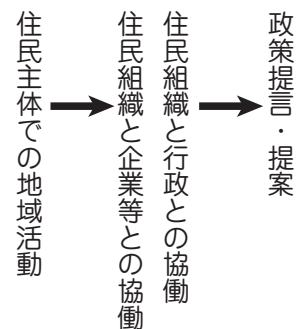
声掛け、町内会報や回覧板への掲載、チラシ配布、ポスター掲示、説明会開催、ホームページ利用・・・

### 住民組織・行政・企業等との「協働」の視点を持つ

最後に提案したいのが、「協働」の視点を持つことです。

普段の活動では「自分たちの地域は自分たちで良くしよう」が基本となりますが、自分たちだけで知恵を絞っても解決しにくい問題に出会う場合もあります。そんなときは、行政との「協働」で問題に取り組んでみてください。行政と一緒に、同じ目標に向かって汗をかき、知恵を出し合いながら、役割分担をして問題を解決していくのです。そのためにも、普段から、環境事業所や家庭ごみ減量課の職員、地域内の企業と情報交換や交流を図り、関係づくりをしておきましょう。

#### <取り組みのステップ>



また、協働でも解決できない場合は、住民組織として政策提案することも考えられます。地域に問題があれば、その実態を調査して、問題の解決策をさまざまな観点から探り、研究します。そして、住民ができること、行政が担うこと、協働ですること、新たに政策を立案すべきことに分けて考えるのです。他都市の事例も参考にできましょう。

### 「批判・文句」から「提案・実践」へ。市民力をアップしよう

「批判・文句を言う市民」から「提案し実践する市民」を目指しましょう。

推進員の活動は、私たちひとりひとりの「市民力」をアップして、住みやすく誇りのある地域を作る、大切な活動です。より良いまちづくりを目指して、みんなで力を合わせて取り組んでいきましょう。

### クリーン仙台推進員活動のヒント

#### ■ クリーン仙台推進員は、具体的に何をしたらいいの？

クリーン仙台推進員の皆さんに、実際に活動した内容をアンケートでお聞きしました。

結果は、割合が高い順に、「ごみ集積所の点検・見回り」、「ごみ集積所の清掃」、「町内会へ報告や呼びかけ」となりました。その他の活動は、下の表のとおりとなりました。

ごみの正しい出し方やごみの減量について、地域のリーダーとして、さまざまな活動をしていただいていることがわかります。

クリーン仙台推進員の活動内容と割合（令和5年度クリーン仙台推進員活動報告より）

活動内容	実施割合
ごみ集積所の点検・見回り	97.1%
ごみ集積所の清掃	88.6%
町内会へ報告や呼びかけ	81.2%
まち美化活動	76.9%
ごみ集積所の改修	72.9%

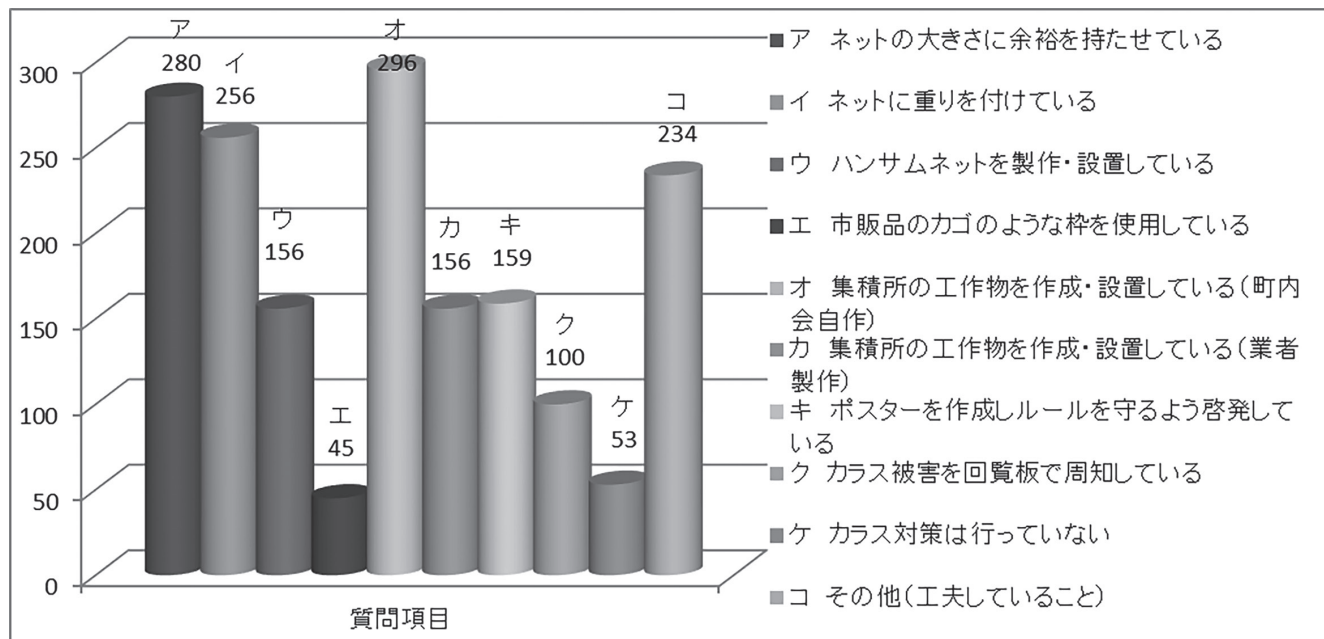
活動内容	実施割合
ごみ集積所での分別啓発	72.2%
不法投棄巡視パトロール	65.5%
町内会報等へ環境記事掲載	55.5%
チラシやポスターの作成	45.6%
環境に関する勉強会の実施	24.7%

### 集積所管理のヒント

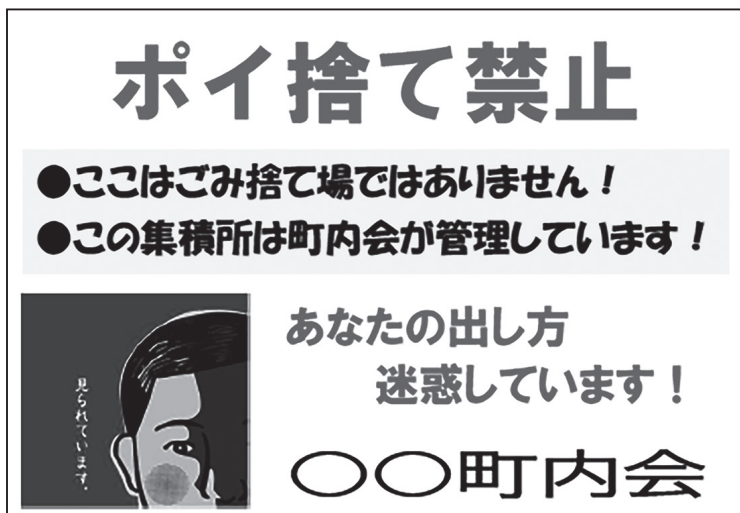
#### ■ カラスなどの鳥獣被害を減らすには？

- ・カラスによるごみの散乱被害を減らすには、ごみの出し方がポイントです。ごみ袋を覆うネットを、隙間ができないようにしっかりと掛けることが大切です。  
また、カラスは目が良いため、ごみ袋が見えないように、ネットの上からシートを掛けたり、ごみを収納する容器を設置するなど工夫しているところもあるようです。
- ・正しいごみの出し方のルールや、ネットの使い方を地域住民に呼びかけ、お知らせすることも大切です。
- ・環境事業所では、効果的なネットの使い方や、地域住民への周知方法など、ごみ集積所管理のお手伝いをしていますので、お困りごとにはご相談ください。
- ・仙台市ごみ減量・リサイクル情報総合サイト「ワケルネット」(<https://www.gomi100.com>)では、ポスターのテンプレートやポスター作成に使用できる素材をダウンロードできますので、ご活用ください。

ごみ集積所のカラス対策で工夫していること（令和5年度クリーン仙台推進員活動報告より）



ポスターの一例



《町内会での取り組み事例》



カラスがネットの外からごみ袋をつつくのを防ぐため、ブルーシートをネットの内側に貼っています。



上からつかれることを防ぐため、上部に蓋を設けています。



カラスが集積所に留まることを防ぐため、結束バンドをパイプ上部に取り付けています。



## ■ 地域の方にごみ出しルールを知ってもらうための工夫は？

《町内会での取り組み事例》

- ・環境事業所に依頼し、分別講座を町内会で主催した。
- ・新1年生入学お祝い会など地域の行事にあわせて、分別体験講座を実施した。
- ・ごみ集積所に貼るポスターや回覧板用のちらしを作成し、繰り返し伝えた。

## ■ 地域の方にごみ出しルールを守ってもらうための工夫は？

《町内会での取り組み事例》

- ・間違いをその場で指摘せず、相手と顔見知りになってからごみ出しルールを説明した。
- ・自発的にルールを守ってもらえるよう、ペットボトルのフタ入れ、缶やペットボトルを入れてきた袋の回収袋などをごみ集積所に設置した。
- ・町内会報にごみ集積所の現状を写真なども含めて掲載し、マナーを守るよう呼び掛けている。

## ■ 外国人住民にごみの出し方を知ってもらうには？

- ・外国人住民向けに外国語で作成した集積所収集曜日ステッカーやごみの分け方・出し方の冊子、ポスターも作成しています。ご入り用の際は、環境事業所へご連絡ください。また、ポスターやチラシを作成するときには「やさしい日本語（むずかしい言葉を言い換えるなどした分かりやすい日本語）」で外国人住民に伝えてみましょう。
- ・地域に住む外国人住民との関わり方についてのご相談や、ご近所に助けが必要な外国人住民がいらっしゃった際は、（公財）仙台観光国際協会 国際化事業部（TEL 022-268-6260）までご相談ください。

**फोहरमैला फाल्ने तरिका**

निर्धारित दिनमा बिहान ८:३० बजेसम्ममा फोहोर राखी दिनुहोला

<p><b>घरेलू फोहोर</b></p> <p>हरेक हप्ता बुधवार शनिवार</p> <p>निर्धारित सोलाहरु मात्र प्रयोग गर्ने</p>	<p><b>प्लास्टिक स्रोतका फोहोर</b></p> <p>हरेक हप्ता बिहिबार</p> <p>निर्धारित सोलाहरु मात्र प्रयोग गर्ने</p> <p>सङ्कलन गरिने चीजहरू</p> <p>100% प्लास्टिक वाट बनेको पिजहरू</p>	<p><b>क्यान, बोटल, पेट बोटल, ब्याट्री, ट्युब लाईट आदि</b></p> <p>हरेक हप्ता शनिवार</p> <p>पहेलो रङ्गको सङ्कलन बाकस भित्र राख्ने</p>
---	---	---

सेन्दाइ शहर पर्यावरण ब्यूरो ताइहाकु पर्यावरण कार्यालय  
फोन: ०२२-२४८-५३००(टेलिफोन वार्तालाप जापानिज भाषामा हुने)

ネパール語「収集曜日の8：30までに出して」

**Rác cỡ lớn (kích thước từ 30 cm trở lên) không được bỏ tại nơi tập trung rác**

(Ví dụ về rác cỡ lớn)

**Hãy liên hệ đăng ký thu gom rác cỡ lớn bằng tiếng Nhật với Trung tâm tiếp nhận rác cỡ lớn (TEL: 022-716-5301) (có tính phí)**

Phòng Môi trường ○○ - Cơ quan Môi trường Thành phố Sendai  
TEL: 022-\*\*\*\*-\*\*\*\* (Điện thoại liên hệ bằng tiếng Nhật)  
Khi cần hỗ trợ về mặt ngôn ngữ, vui lòng gọi điện thoại đến tổng đài có hỗ trợ thông dịch TEL:022-224-1919

ベトナム語「粗大ごみの出し方」

《町内会での取り組み事例》

- ・留学生にベトナム語でごみルールやポスターを作成してもらい、ごみ集積所に掲示した。
- ・外国人が多く入居しているアパートにベトナム語の「資源とごみの分け方・出し方」パンフレットを配布した。
- ・外国人には文字では伝わりにくいので、写真を入れたポスターを作成して貼りだした。

■ **ポスターを効果的なものにする工夫は？**

《町内会での取り組み事例》

- ・こどもたちに啓発ポスターを作ってもらうことで、大人に関心を持ってもらうようにした。

■ **ごみ集積所をきれいに利用してもらう工夫は？**

《町内会での取り組み事例》

- ルールが守られていないごみ集積所へ改善点を掲示し、意識してもらうようにした。
- 事情により町内会に加入していない方にもごみ集積所の清掃当番に参加してもらった。
- 部外者からごみの持ち込みをされにくい場所にごみ集積所を移動した。
- 定期的にごみ集積所の見回りを行い、改善点などを町内会だよりなどで周知した。
- ごみ集積所にほうきやちりとりを置いて、地域の方々に気づいた人がその都度掃除できるようにしている。

**ごみ減量・リサイクル情報広報のヒント**

■ **地域の方のごみへの関心を高めるには？**

- ・仙台市では、町内会等が主催する「分別出前講座」や「ワケルくんバスで行く！環境施設を見る会」の申込を随時、受け付けています。出前講座では模擬ごみを利用した分別体験、環境施設を見る会では焼却工場や民間リサイクル施設などの見学を行うことができますので、ぜひご活用ください。（☞P6～7参照）

《町内会での取り組み事例》

- リサイクル施設見学会を町内会で実施し、ごみ減量リサイクルの知識を身に着けた。
- 模擬ごみを使った分別体験のできる出前講座や、市政出前講座を町内会で開催し、ごみへの理解を深めた。

## ■ ごみ減量を進める取り組みは？

- ・仙台市が、年4回発行しているメビウス通信では、ごみの減量・リサイクルや適正排出にかかる最新情報を発信しています。ぜひ、町内での掲示や回覧をして、ご活用ください。

### 《町内会での取り組み事例》

- ごみの排出量を調査・記録し、その結果を表やグラフを使って町内会報でお知らせした。
- 掃除当番ノートに記載された質問を、各班長に提出してもらっている。環境事業所に問い合わせ、もらった回答をノートに貼付したり回覧したりしている。

## まち美化のヒント

## ■ 効果的なまち美化活動を行うには？

- ・地域での清掃活動で、道路などを清掃する際に使用できる地域清掃ごみ袋を配布しています。清掃活動を実施する際にご活用ください（公園のみの清掃の場合には、公園課が配布しているごみ袋をご使用ください）。

### 《町内会での取り組み事例》

- 町内をあげて美化活動を実施した。
- 住民、町内会役員、事業者の三者で地域の一斉清掃を実施し、きれいな地域づくりが習慣化された。
- 老人クラブや子ども会と連携して、花壇づくりに取り組んだ。
- 年4回実施している「まちぐるみ清掃」に、地域内外の小中学生に広く声をかけ参加を募っている。

